

1 単元名 「ハンバーガーショップの経営者になってみよう」(4章-1 わたしたちの暮らしと経済)
東京書籍版「新しい公民」

2 単元目標

- ・○ 章の導入として課題学習を行うことで学習意欲を高め、経済への興味・関心を持つことができる(関心・意欲・態度)
- ・○ 身近なことから、生活と経済の関係、経済活動における選択について考えることができる(思考・判断)
- ・○ 与えられた資料を分析しながらさまざまな考察をしていくことができる(技能・表現)

3 指導計画

第一次 わたしたちの生活と経済・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5時間(本時は1時間)

第二次 市場経済と金融・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4時間

第三次 国民生活と福祉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5時間

4 指導上の立場

(1) 単元について

- ・これから習う経済の様々なしくみについて、身近な消費生活を取り上げて考えさせることで学習意欲を高め、理解させる
- ・身近にある具体例や資料などを用いて、わたしたちの生活と経済の関係について考えさせる
- ・経済活動について資料を活用しながら考察できるようにさせる

(2) 生徒の実態

- ・社会科に関する意欲は高く、比較的落ち着いた態度で授業を受けることができるが、考察や資料活用といった場面ではまだまだ十分にできない生徒が多い。話し合いをする時に中心となって場を動かしていくことが出来る生徒が少ないため、教師の支援が必要である。

(3) 本時の指導のポイント

- ・「経済」という中学生にとっては聞き慣れない分野について、自分達の地域にあるハンバーガーショップやスーパーなどの経営状況をもとに考えさせ、経済についての関心を深めさせる
- ・予習内容
自分の身近にあるショップやスーパーの立地条件、販売層を調べてくる
自分が店舗を利用する時に注意する点を考えてくる
- ・教えること
予習内容をもとに、出店する時に考えなければならないポイントについて教える
- ・考えさせること
予習内容、教えられたことをもとに、教科書を使って実際にハンバーガーショップを出す時の立地条件、販売層などについてグループごとに考察させる

5 本時案（第1次第1時）

目 標		身近にある店舗を通して経営者、消費者それぞれの視点について考えさせ、教科書の地図のなかから出店したい場所を選びその理由を考えることができる。	
		学 習 活 動	教 師 の 支 援
教 える	説 明 20 分	1. 身近にあるハンバーガーショップやスーパーなどの立地、購買層について意見を出しあう	<ul style="list-style-type: none"> ・「どんな人々がたくさん来るか」「どの時間帯に多いか」「交通手段は何か」「客はどのような目的で利用するか」といった点を質問し、生徒に考えさせる ・出店場所に応じて特徴が違うことを理解させる ・生徒の意見をもとに、出店時に考えなければならないポイントや、どんなことに重点を置くかは出店場所によって違うということを教えて理解させる ・ワークシートを用いて記入させていく
		2. 店舗を出店する時に考えなければならないポイントを、経営者・消費者それぞれの視点から教える	
考 え さ せる	理 解 確 認 10 分	3. <u>教科書の地図を見て、それぞれの立地条件をワークシートに記入し、プラス面マイナス面それぞれをグループで話し合う</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>教えて理解させたことをもとに、それぞれの場所の条件を考えさせる</u> ・<u>グループごとに発表させ、共通理解を図る</u>
		4. グループごとに、自分達ならどこに出店するかを考える	<ul style="list-style-type: none"> ・好立地はどこか、どのようなポイントに重点を置いて経営するかという方針などを、グループごとに考えさせる ・他のグループの意見も聞くことで、様々な見方があるということを考えさせる
	理 解 深 化 15 分	5. グループごとに発表し、他のグループの意見についても考察する	
	自 己 評 価 5 分	6. 学習内容を振り返る	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を通して経済について興味・関心を高めることができたかを振り返らせる

